

金沢大学教育学部

附属学校園だより

題字：金沢大学 林 勇二郎 学長

第15号

平成13年9月



ふじだなおとぎ会 (小学校)

目次

附属小学校長に就任して 三好 義昭 2

附属学校園いま「小学校」創立127年 小学校の伝統的行事・学校生活

- ◆ ふじだなおとぎ会 ◆ 生活日記「あゆみ」 3
- ◆ 文集「ふじだな」

附属学校園いま「中学校」

- ◆ 五月晴れの大運動会 ◆ 梅雨の晴れ間の一泊合宿 4~5
- ◆ 「薬物乱用防止教室」開かれる ◆ 響け歌声 合唱コンクール
- ◆ 加賀地区代表に続々 部活動がんばる

附属学校園いま「高等学校」

シドニー現地学習 6

附属学校園いま「養護学校」

- ◆ 小学部 交通安全教室 ◆ 中学部 きょうは“おふろの日” 7~8
- ◆ 高等部 高等部での「情報」の授業

附属学校園いま「幼稚園」

- ◆ 第47回教育研究会を終えて 8~9
- ◆ お父さんと一緒にわくわく宿泊体験
- ◆ おしゃれでおしゃまなちびっ子夏祭り

児童・生徒の記録 (01'4~01'8月) 10

平成14年度 金沢大学教育学部附属学校園 児童生徒募集について 11

歩み/主要日誌 (01'4~01'8月) 編集後記 12



附属小学校
校長

三好 義昭

教育学部教授
専攻：情報科学

附属小学校長に 就任して

この4月に附属小学校長に就任して、瞬く間に一学期が終わり、二学期を迎えました。なにぶんにも校長職はもとより、小学校業務の経験は初めてのことで、新年度が始まり新任教諭を迎え新陣容のもと、始業式までの僅か1週間程の内に各クラス担任の決定（それに伴う教官室の座席変え）、新年度の役割分担、年間行事計画の策定等をしてきばきと処理するさまを間近に拝見し感心させられた事から始まって、各種学校行事、育友会行事等が走馬燈のように思い出される昨今です。

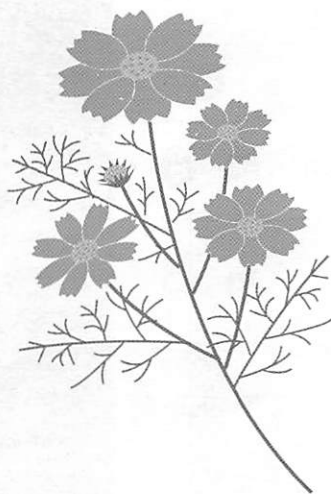
さて、附属小学校が平成7年9月に現在の平和町新校舎で授業を開始して、丁度まる6年が経過しました。すなわち、入学した年の一学期を旧広坂校舎で、そして二学期からは平和町校舎でと、旧広坂校舎で学んだ期間は短いながら広坂と平和町の両校舎で学んだ児童が今春めでたく卒業し、現在は全員入学時から平和町校舎で学んでいる児童のみとなり、今年度より新たな歴史の1頁を開くことになりました。この機会に改めて本校の教育方針を示します。

本校では、変化する社会を生き抜く力と、豊かな社会の形成者としての資質の基礎を育成することを目指し、教育方針として具体的には以下の3点を掲げております。

- ・豊かな人間性を醸成する。
- ・自ら学ぶ生涯学習の基盤を作る。
- ・たくましく生きる心や体を育てる。

この教育方針に謳っておりますように、小学校の6年間は勉強の基礎を学ぶと同時に、人間性が育つ非常に重要な時期であります。このことは、もちろん本校のみならず全ての小学校に当てはまることで、いうなれば小学校での6年間は子ども達の将来を決定付けるといっても過言ではなく、その職責の重大さに身の引き締まる思いです。併任のため本校と金沢大学教育学部とを行き来しておりますが、本校に来校の度に、児童の純真無垢な笑顔を見ると本当に心が癒される思いです。この笑顔を曇らせてはならじと肝に銘じている次第です。

また、本校はじめ附属学校園の大きな使命の一つは、教育研究・実践校園として先進的な課題に積極的かつ果敢に取り組むことにより、児童・生徒の健やかな成長と豊かな心の育成により一層貢献することです。本校の先生方が日夜努力されているところですが、より実のある教育研究成果を挙げるため、本校と金沢大学教育学部との密接な連携はもとより、教育委員会をはじめ関係各位のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



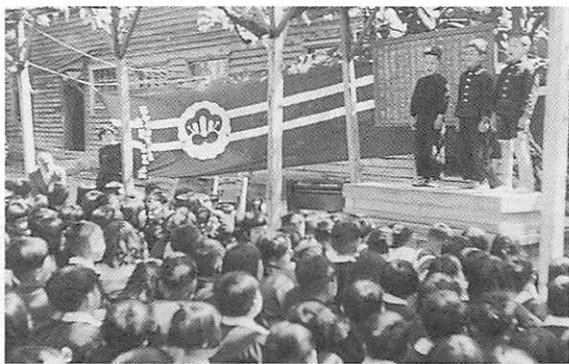
附属学校園 いま 「小学校」

創立127年小学校の伝統的学校行事・学校生活

本年5月9日(水)・10日(木)の両日に、体育館横中庭のふじ棚において「ふじだなおとぎ会」が行われた【表紙写真】。この行事は創立127年の伝統を誇る附属小学校において、古くから引き継がれているものである。このような学校行事や学校生活の中から現在も取り組まれている特徴的なものについてその歴史と経過等を「金沢大学50年史」より転載する。

◆ふじだなおとぎ会

毎年5月の連休明けのころ、満開となった校庭のふじ棚にまん幕を張り、多くの保護者の参観の下、ふじだなおとぎ会が開かれる。その歴史は古く1889(明治22)年にさかのぼり、広坂校舎の中庭のふじ棚とともに附属小学校を象徴するものの一つになっている。学年ごとに集まり、児童の司会で創作童話や昔話、紙芝居などを聞き語る会で、子どもたちはこの日に備えて物語を覚えたり、身振り手振りを交えて練習を重ねたりする。この行事は児童の表現力を高めるばかりではなく、心温まる話を聞くことにより心豊かな人間性や感性の育成にもつながるものである。



昭和29年のふじだなおとぎ会

◆生活日記『あゆみ』

3年生以上の全児童が『あゆみ』で毎日の生活日記を書くようになったのは1950(昭和25)年からである。現在1年生は『あのね』、2年生は『あしあと』と呼ばれている1枚日記を書いている。『あゆみ』の形式はほとんど変化なく、1ページが上段と下段に分かれている。上段には学校での学習の様子や家庭への連絡事項が記

入できる。下段は1日の学校や家庭、社会の生活を振り返って、したこと、見たこと、思ったことを自由に書きつづるようになっている。その日の題材を何にするか、子どもたちにとっては大きな課題であるが、『あゆみ』を継続して書くことによって、児童の表現力や思考力、豊かな感性を育成することができる。それだけではなく学校外の生活の実態や児童の相談事や疑問、ものの見方や考え方を担当が知って適切な対応をすることができ、学級経営や生徒指導にとっても有意義なものとなっている。

また、書き終えた『あゆみ』を1年分まとめて製本し、表紙に学年・組・名前を入れることもできるようになっている。卒業生の中には、小学校の楽しかったことや苦しかったことなどを詰め込んだ思い出のものとして、大切に保管している者も多い。

◆文集『ふじだな』

全児童の作文や詩などを掲載している文集『ふじだな』は1950(昭和25)年に第1号が発行された。当時は年間3回発行されていたが現在は年間1回になった。学年ごとに詩、意見文、生活文などジャンルを分け、国語科の学習内容と関連を持たせながら書くようになっている。これは表現領域として文章表現力を高め想像力を豊かにするとともに、ものの見方や考え方、感じ方を深めていくというねらいがあり、生活日記『あゆみ』と共通する部分である。さらに、児童が友達の作品を読むことを通して、表現良さに気付いたり、ものの見方や感じ方の違いを感じ取ったりすることにより、更に自分が高まる手掛かりとなることも期待できる利点がある。



「文集ふじだな第94号」(平成13年3月発行)

附属学校園 いま 「中学校」

◆五月晴れの大運動会

5月29日(火)は、さわやかな晴天に恵まれました。新しいクラス仲間が団結する最初のイベント、それは運動会です。赤・青・黄・緑の4団に分かれて得点を競いました。騎馬戦、棒倒し、綱引き、リレー等の伝統的なプログラムと生徒の創意からなるユーモラスなゲームがこもこも展開し、楽しく日に焼けた1日でした。校舎の壁面いっぱいの垂れ幕に描いたスローガンも見物です。各係りの生徒の綿密な計画と準備によって運営されています。新入生にとっては先輩の指揮ぶりが頼もしく見える一日でした。



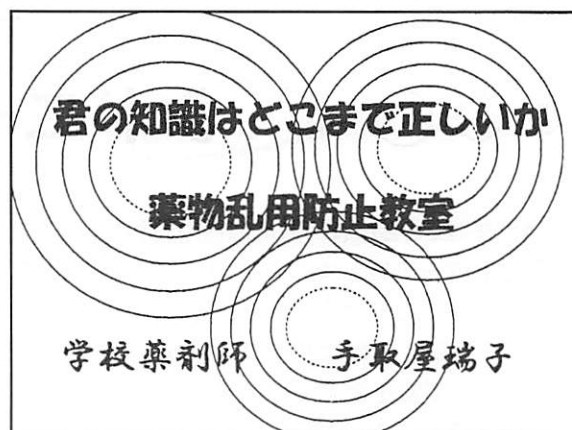
◆梅雨の晴れ間の一泊合宿

1年生の一泊合宿が6月26日(火)・27日(水)に福井県少年自然の家で行われました。朝倉氏遺跡の探訪や焼き杉のクラフトづくりも楽しむ中で協力すること、我慢すること等集団生活でのマナーを学びました。



◆「薬物乱用防止教室」開かれる

6月30日(土)、学校薬剤師の方を講師として「薬物乱用防止教室」が開かれました。対象は2年生です。同教室に先立つ1ヶ月前に薬物に関する意識調査が行われました。喫煙経験の有無をはじめとし、薬物のイメージ・誘因・話題の頻度等について調査結果が、スライドやパワーポイントでわかりやすく紹介されました。ちょっとした好奇心から人格喪失の凄惨な状態に陥る麻薬の怖さは、ビデオでも詳しく紹介されました。この日は保護者の方にも授業参観を呼びかけて「親子で学ぶ薬物乱用防止教室」となり、親も子も食い入るように画面を見ました。また、薬剤師さんが見せてくださったサンプルが錠剤やカプセル入り状態であって、麻薬・



粉・注射というイメージにほど遠かったことも親子とも大きな驚きでした。



◆響け歌声 合唱コンクール

7月7日(土)、恒例の合唱コンクールが体育館で行われました。学年ごとの課題曲と学級が選曲した曲でハーモニーを競います。この時期音楽の授業は週1時間(1年生は2時間)しかないのです。どのクラスも練習時間を捻出するのに一苦労です。クラス仲間の心と心がぶつかったりまとまったり。ドラマの末、本番を迎える日には、すばらしい歌声が響きます。中でも3年生の歌う「大地讃頌」は男声も女声もよく響いて満場を魅了しました。土曜日にこの行事が設定されてから、保護者の来校がぐんと増え家族連れで合唱を楽しむ姿が見られます。

◆加賀地区代表に続々 部活動がんばる

部活動は今年も活発。7月20日(金)～22日(日)には県大会(中学校体育連盟)に次のチームが出場して活躍しました。

☆サッカー	ベスト8入り
☆男子ハンドボール	3位入賞
☆女子バドミントン個人戦	
☆硬式テニス(女子)	8月18日(土)広島 の全国大会に出場。

附属学校園 いま 「高等学校」



シドニー現地学習



54回生は7月21日から5泊6日の日程でシドニー現地学習を実施しました。真夏の金沢とは違い、南半球では今は冬、天気予報は傘マークが続き、また海外旅行は初めてという生徒も多く、いろいろな不安を抱えての出発となりました。

出発までに、本校教官による事前学習、過去三回の引率教官からの注意事項の確認、自主制作によるしおりの作成など、入念な準備を行いました。北京を含めれば、海外現地学習はすでに8回実施され、素晴らしい成果をあげていますが、参加する生徒にしてみれば毎回が初体験、やはり不安は募ります。

シドニー空港に到着してみれば、つい先程まで雨が降っていた様子はあるものの、幸い天候は曇り、予想した寒さもそれほどではなく、幸先のよいスタートとなりました。現地のスタッフの方々にも出迎えて頂き、見えない所で多くの方々のお世話になっている様子も垣間見ることが出来ました。

オペラハウス・水族館では雨に降られたものの、ボンダイビーチや一日半の班別自主研修ではなんとか晴天に恵まれ、シドニー大学の学生さん達と親睦を深め、また英会話と悪戦苦闘しながら市内を巡り、若く活気にあふれたオーストラリアの文物に触れ、日本文化との違いを再確認する機会を得ることができました。半日は生徒諸君だけの散策となりましたが、言葉の通じない外国の町を歩くことによって、友人達との協力の重要性を改めて認識する人も多かったようです。心配していたブルーマウンテンのブッシュウォークや牧場での研修も思いがけない



晴天に恵まれ、雄大なオーストラリアの自然を満喫することが出来ました。

昨年引き続き行われたカムデンハイスクールとの交流も、バンド演奏・合唱披露で始まった最初の頃は、幾分固さが感じられたものの、テーブルに分かれての交流ではあちこちで笑い声が上がり、フラッシュが光り、ダンスが始まる頃にはすっかり打ち解け、言葉の壁を超えた交流の輪が広がり、新世紀における国際化の担い手としての頼もしさを感じさせました。

全体を通して、心配していた天候にも恵まれ、スケジュールに大きな遅れもなく、本番に強い54回生らしさを発揮したのではと思っています。9時間あまりのフライトで日本到着。大きな事故・病人もなく、全員が無事に日本に帰ることが出来たのが大きな喜びでした。名古屋に着いてしばらくは、まだ地に足が着いていない感じでしたが、金沢駅に着き、出迎えて下さった教官や保護者の方々を見てようやく落ち着いたようでした。暑さにうだる金沢から考えれば、まさに夢のような5泊6日の旅でしたが、生徒諸君を確実に一回り大きくしてくれたようです。学校行事や勉強で、これからも多くの試練が54回生を待ち受けていることと思いますが、それを乗り越える力を、生徒諸君に与えてくれたのではないかと思います。この旅を陰で支えてくださった多くの方々に、改めてお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。



附属学校園 いま 「養護学校」

◆小学部「交通安全教室」

本校は「兼六園下」という至便の場所にありますが。しかし便利な反面、交通安全には特に気をつけなければなりません。

小学部では毎年春に市内の神田にある交通公園に出掛けて行き、信号の見方や横断歩道の渡り方、また自転車の安全な乗り方について楽しく学習しています。

指導員の方は毎年話し方や教材に工夫されているようで、一生懸命説明してくださいます。自転車やゴーカートに乗る時でも係の方が総出でお世話してくださるので大変助かっています。

これからもぜひ続けていきたい学習です。



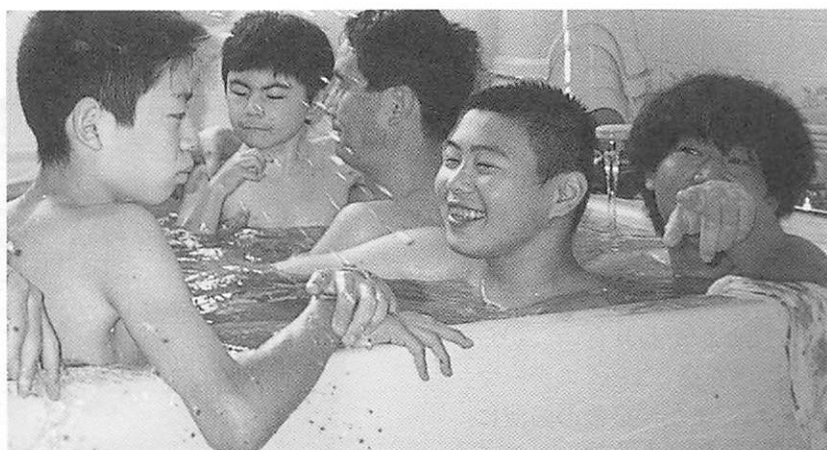
「右を見て、左を見て、もう一度右をみて…」

◆中学部 きょうは“おふろの日”

「あした、おふろの日やね」「いっしょにはいろうね」「あんた、男でしょ」いろんな会話が飛び交って子どもたちも先生もとっても楽しみにしてこの日を迎えています。

この“おふろの日”は『すずかけの家』ができた翌年から実施しています。日頃保護者からよせられる入浴に関する悩みを聞いたり、実際、合宿、修学旅行での風呂での様子を見ての必要性から始めることにしました。今回の指導ポイントは「タオルにせっけんをつけ、自分で身体をあらう」「友達や先生の背中をお互いに洗お

う」です。洗いっことは人気があってキャーキャー楽しそうな笑い声が風呂の外に聞こえてきます。風呂から上がると慣例の流しそうめん。今年は里山ワールドとの出会いもあって竹が生活の中に入っています。太くて、長ーい竹の川をゆったりそうめんが流れ……といきたいところですが、あっという間におなかの中への流しそうめんでした。風呂上がりは食欲もりもりの中学部の生徒たちです。こんな日は家庭での親子の会話がはずみ、翌日の連絡ノートを楽しみに待つ喜びがあります。



附属学校園 いま 「養護学校」

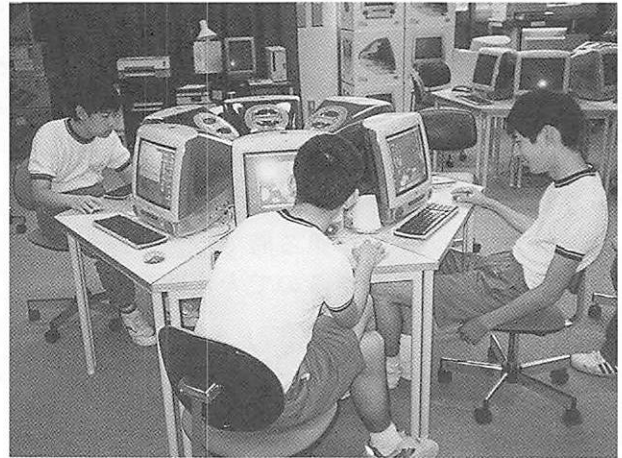
◆高等部 メディアセンターでの「情報」の授業

校舎改築とともに「コンピュートルーム」が放送室・図書室の機能も統合し「メディアセンター」として生まれ変わりました。高等部「情報」の授業はここで行われます。

この教科は選択教科のため、毎年新しいメンバーが参加してきます。そこでまずは初歩的なコンピュータリテラシーの学習(マウス操作、キーボード入力の練習)から始めることになりますが、そのような技術面以上に、この授業で大切にしているのは「卒業後の生活に生かす」ということです。新しいメディアを普段の生活や余暇に有効に使えるようにという願いをもっています。

教師と共に、インターネットの利用、ワープロの入力、デジカメの使い方、ペイントソフトでのCG製作などを経て、WEBページづくり

にも取り組んでいます。また今後は自分たちの学んだことを下級生に伝えていくインストラクター活動も行っていく予定です。



附属学校園 いま 「幼稚園」

◆第47回教育研究会を終えて

6月6日(水)第47回教育研究会が本園で行われました。今年は、6月6日(水)の初夏の会と10月13日(土)の秋の会と、二度教育研究会を開催することにいたしました。日頃の研究成果を発表すると共に、県内外の保育所、保育園、幼稚園の先生方と、保育の実際を語り合う機会を一度でも多くもちたいと願ったからです。さらに、子ども達を取り巻くさまざまな潮流を鑑み、附属幼稚園の果たすべき役割を再確認したい思いに駆られたからでもあります。

初夏の研究会は、保護者の方々の緻密な協力体制にも助けられ、盛会のうちに終えることができました。午前中は保育公開と学年別フォーラム、午後からは「友達とかかわり合いながら創る生活 ―さまざまな場を通して―」のテーマで研究発表を行いました。また、最後の講演には、日本女子大学教授の小川博久先生に「環境

構成と教師の役割」と、題してお話をうかがいました。小川先生には、園舎内の環境や教師の援助について、実際の場で具体的にご助言をいただき、今後の保育活動への示唆を頂戴しました。なお、10月13日の秋の教育研究会に、再度、小川先生をお招きし、実りの秋に相応しい研究会にしたいと職員一同意気込んでおります。



附属学校園 いま 「幼稚園」

◆お父さんと一緒にわくわく宿泊体験

前年度にスタートした年長児の“ふれあいの里”でのわくわくワールド宿泊体験、今年度は新たな試みとして、お父様方の参加を企画しました。「自律と共存」「自然との触れ合い」「父親の保育参画」を願って、本園や家庭では味わえない経験ができるよう配慮しました。

7月7日(土)・8日(日)の両日は、年長児とご参加いただいたお父様方にとって、貴重な思い出アルバムとなったのではないのでしょうか。キゴ山の頂上を目指してのオリエンテーリング、七夕の夜のキャンプファイアー、入浴指導にベットメーカーとお父様方はフル操業でした。そんなお父様方の姿は子ども達にとって、「〇〇ちゃんのお父さん、☆☆ちゃんのパパ」は頼もしく、とても身近な存在となったようでした。さまざまな活動の中でも、キャンプファイヤーでのお父様方の熱演振りには、子ども達はもちろん先生方も感嘆の声をもらしてしまいました。

自然の恩恵に感謝しながら、子ども達が寝静まった頃を見計らって、諸岡園長先生を囲んで反省会をいたしました。「母親が参加したら、こう規律よく宿泊体験はできないと思います」「はじめは我が子と同じグループではないので躊躇しましたが、活動してみて良い企画だったと思いました」等々、一人一人のお父様方から発せられる言葉に頷いたり、励まされたりしました。園長先生はお父様方と膝を交えて語り合うことができ、織姫と彦星の逢瀬のように胸躍らせて聞き入っていらっしゃいました。



◆おしゃれでおしゃまなちびっ子夏祭り

7月19日(木)午後3時、育友会主催の第2回夏祭りが開催されました。昨年度の経験を生かして、役員の方々や年長児のお母様方の用意周到な準備が功を奏して、熱気に溢れた楽しい夏祭りでした。おしゃまな浴衣姿の小学生、可愛い浴衣に甚平スタイルの園児達、どの顔も真夏の太陽と競うかのように輝いていました。

今年はセキュリティーの問題もあり、陽の落ちぬ間の開催となりました。そのことによって、ベビーカーの必要な可愛い弟や妹達、更に、小学校の校長先生や副校長先生をはじめ多くの先生方にも楽しんでいただけたと思っています。夏祭りは、附属学校園のキャンパスが、一つの地域社会となっている雰囲気を感じ出していました。

夏祭りのほかにも、1学期は保育現場での保護者参画をさまざまなスタイルで行いました。1年生と共有している“なかよし畑”の栽培物の管理、企画や学年懇談会時の読み聞かせや折り紙ボランティアなどです。2学期も保護者の方々とともに、子ども達の未来を信じて、よりよい保育を展開したいと考えています。



児童・生徒の記録

その5

(平成13年4月から平成13年8月)

	月 日	事 項 (表彰等)	備 考
中 学 校	4. 28	石川県中学校テニス選手権	男子 優勝 女子 優勝
	5. 15	第8回世界子ども図画コンテスト 日本 の 部	銀賞 銅賞
	5. 18	石川県中学校春季テニス交流会	男子 第1位 第2位 女子 第1位 第2位
	5. 19	金沢市中学校陸上競技大会 砲丸投げ	第3位
	5. 20	金沢市中学校春季ハンドボール大会	男子B級 第1位
	6. 1	第43回水道週間ポスター	入選
	6. 10	北信越中学生テニス選手権大会	女子団体 第1位 男子団体 第2位
	6. 17	加賀地区中学校体育大会兼石川県体育大会予選	サッカー 第3位
	6. 20	外務省, (財)日本国際連合協会, (社)ユネスコ主催 第41回国際理解協力のための全国中学生作文コンテスト	銀賞
	7. 21	石川県中学校体育大会 ハンドボール	男子 第3位
	8. 28	第12回くろゆり杯中学生サッカーフェスティバル	第3位
			山口 奈穂子 上田 小有希 彦田・金沢組 山本・小川組 嵯峨・朝日組 黒瀬・池田組 坂本 卓弥
			小出 有紗 全国大会出場
高 等 学 校	5. 5	平成13年度石川県ジュニアテニス選手権大会 16歳以下男子ダブルス	優勝
	6. 3	平成13年度石川県高等学校総合体育大会 男子シングルス	優勝
	6. 3	平成13年度 石川県高等学校総合体育大会	
		第1競技 ジュニア馬場馬術競技	第1位
		第2競技 障害飛越競技	第2位
	6. 10	第25回全国高校囲碁選手権大会石川県大会 男子団体戦	第2位
		男子個人戦	第1位
	6. 10	レッツエコライフキャンペーン環境作文コンクール	佳作
	6. 10	第25回全国高校囲碁選手権大会石川県大会 女子団体戦	第2位
	7. 26	第25回全国高校囲碁選手権大会全国大会 男子個人戦	ベスト16
	8. 7	第25回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 都道府県団体戦	全国6位
			小山 堅太郎 田中 真貴 高橋 明子 高橋 明子 神田 貴範, 野老山 武士, 村上 輝明 神田 貴範 山田 紗英子, 片山 恵 神田 瑤子, 中井 祥恵 西 麻里, 新田 志帆, 吉田 光紗 神田 貴範 神田 貴範 (主将)

お知らせ

平成14年度 金沢大学教育学部附属学校園 児童生徒募集について

幼稚園 募集人員 2年保育児 男女合わせて約20名
 3年保育児 男女合わせて約20名
 願書交付 10月9日(火)～10月29日(月)
 出願期間 10月23日(火)～10月29日(月)
 園開放と説明会 10月20日(土) 午前9時～11時30分
 選考日 第1次 2年保育児 11月6日(火)
 3年保育児 11月7・8日(水・木)
 第2次 11月9日(金)

小学校 募集人員 男女合わせて約55名
 願書交付 10月22日(月)～11月2日(金)(土、日を除く)
 出願期間 11月5日(月)～11月9日(金)
 学校説明会 10月30日(火) 午後3時(受付は午後2時45分)
 選考日 第1次 12月5日(水) 第2次 12月6日(木)

小学校(複式学級)
 募集人員 第3学年児童男女合わせて、約12名
 願書交付 10月22日(月)～11月2日(金)(土、日を除く)
 出願期間 11月5日(月)～11月9日(金)
 学校説明会 10月30日(火) 午後3時(受付は午後2時45分)
 選考日 1月10日(木)

中学校 募集人員 男子 約25名 女子 約25名
 学校説明会 12月10日(月) 午後1時25分(受付:午後1時)
 願書交付 12月10日(月)～1月17日(木)(冬休み、土日及び祝日を除く)
 出願期間 1月16日(水)～1月19日(土)
 選考日 第1次 2月14日(木) 15日(金) 第2次 2月16日(土)

高校生 募集人員 120名 (推薦55名 学力検査65名)
 願書交付 11月6日(火)～
 入試制度説明会 11月13日(火) 午後2時～
 出願期間 1月21日(月)～1月25日(金)
 学力検査 2月12日(火)・13日(水)

養護学校 募集人員 小学部 3名 中学部 3名 高等部 若干名
 学校説明会 10月25日(木) 午前9時
 出願期間 11月5日(月)～11月16日(金)
 選考日 11月22日(木)

問い合わせ先

附属幼稚園	226-2171
附属小学校	226-2111
附属中学校	226-2122
附属高等学校	226-2155
附属養護学校	263-5551

歩み

主要日誌

5月

- 2 (水) ★将来構想検討専門委員会 ㊥遠足
- 9 (水) ★㊤ふじだなおとぎ会
- 10 (木) ★㊤創立記念日 ㊤ふじだなおとぎ会
- 15 (火) ★校園長・副校園長会議
- 22 (火) ★㊤校舎完成記念式典・祝賀会
- 25 (金) ★㊤特別合同授業
- 27 (日) ★㊤運動会
- 29 (火) ★㊤㊥運動会
- 30 (水) ★㊤体育交歓会
- 31 (木) ★開学記念日

7月

- 2 (月) ★将来構想検討専門委員会
- 6 (金) ★㊤七夕の集い
- 7 (土) ★㊥合唱コンクール ㊤七夕まつり
㊤5才わくわく宿泊体験 (一泊)
- 10 (火) ★校園長・副校園長会議
- 12 (木) ★㊤オーケストラ鑑賞教室
- 13 (金) ★㊤スポーツ大会
- 19 (木) ★㊤㊥終業式 ㊥㊤終業 ㊤夏祭り
学校評議員会議
- 21 (土) ★㊤2年シドニー現地学習 (26日まで)
- 24 (火) ★将来構想検討専門委員会
- 25 (水) ★㊤学校評議員会議

平成13年

4月

- 9 (火) ★㊤㊥㊤入学式・始業式・新任式 ㊤始業の集い
- 12 (木) ★㊤入園式
- 13 (金) ★㊤避難訓練
- 18 (水) ★㊤遠足
- 19 (木) ★㊤春の遠足
- 20 (金) ★㊤創立記念日
- 22 (日) ★㊤日曜参観
- 23 (月) ★将来構想検討専門委員会 ㊤春の遠足
- 24 (火) ★㊤こいのぼりの集い
附属学校園検討委員会 校園長・副校園長会議

6月

- 1 (金) ★㊤高等部一泊旅行
- 4 (月) ★㊤研究会
- 6 (水) ★㊤修学旅行 (高等部, 8日まで)
- 7 (木) ★㊤運動会 ㊤小3組・中学部一泊研修
- 12 (火) ★校園長・副校園長会議
- 13 (水) ★学校評議員会議
- 14 (木) ★㊤学校参観
- 18 (月) ★㊤研究会
- 21 (木) ★㊤プール開き
- 24 (日) ★㊤日曜参観
- 26 (火) ★㊤5年合宿 (キゴ山少年自然の家, 27日まで)
㊥1年一泊合宿
- 27 (水) ★㊤6年合宿 (大杉少年自然の家, 28日まで)
- 29 (金) ★㊤年長組プラネタリウム見学

8月

- 3 (金) ★㊤登園日
- 4 (土) ★㊤学校評議員会議
- 24 (金) ★㊤三県附中交歓会
- 29 (水) ★㊤始業
- 30 (木) ★㊤始業式

編集後記

- ◆今年、秋の訪れがいつもより早いような気がします。各附属学校園では、研究発表会、文化祭等の行事に向けて準備が行われています。
- ◆「実りの秋」という言葉がありますが、まさに児童生徒等が今年培ってきたものを実りあるものにする時期がやって来たと言えましょう。
- ◆去る6月8日の大阪教育大学附属小学校の児童・教職員の殺傷事件のほか、夏にかけて児童が犠牲となる痛ましい事件が相次いで発生しました。我が附属学校園でも、校門に警備員を配置するなどの措置をとってきましたが、決して児童生徒が元気で明るく過ごせる環境を損ねるものであってはならないと考えています。

事務長補佐 上 梨

附属学校園のインターネットホームページ

- 小 <http://www.kanazawa-u-e.ed.jp/>
- 中 <http://futyu.ed.kanazawa-u.ac.jp/>
- 高 <http://www.ed.kanazawa-u.ac.jp/~hswww/School.html>
- 養 <http://pcen100.ed.kanazawa-u.ac.jp/YOGO/HOME.HTM>
- 幼 <http://pcen100.ed.kanazawa-u.ac.jp/kinder/index.html>

『附属学校園だより』第15号

平成13年(2001年)10月20日発行
金沢大学教育学部附属学校園
〒921-8105 金沢市平和町1丁目1番15号
☎076-226-2181 FAX 076-245-8630
E-mail ed-fuzoku1@ad.kanazawa-u.ac.jp